

②—豊かな市民生活の実現

1. 身近な行政サービス

●期待される区役所

市民は、身近な生活環境についての不満や要望を区役所にもちこんだ場合と、市役所にもちこんだ場合とでは、どちらの方が解決されやすいと考えているのだろうか。緑区でそのような調査をしたことがある。それによると、半数近い人が「区内にある「市役所」よりも、「区役所」の方が解決されやすいと答えている。逆に「市役所」と答えた人は二七・五%であった。

五六年一月にも同じような調査を行っている。港北・緑・戸塚の三区の市民を対象としたもので、ここでも「何らかの方法で区・地域を強化すべきである」と答えた人が七割近くを占めた。

この二つの調査をみても、市民は身近な区役所で問題が解決され、サービスが行われることを期待していることがよく分かる。

区役所機能の強化は、市民だけでなく行政内部の期待するところでもある。その背景は次の二つに整理できよう。一つは、住民の要望や地域情報の把握、それらを反

映した市政の推進などの機能が、市民に最も近い区役所に求められている。もう一つは、今日の市政にはそのサービス領域の広さと個々のサービスにおける質の問題などに対応できる高度の専門性、技術性が期待されているのに加えて、区役所には地域住民の要望に的確にこたえるため、総合行政の推進が求められている。いいかえれば、市役所と連携して、地域の問題を解決していくための総合的な行政を展開していくことが、区役所に期待されているのである。

●大部分が委任事務

それでは、区役所の現実の姿はどうか。区役所事務の大部分は、戸籍、住民基本台帳、選挙、国民健康保険、年金などの委任事務で占められており、権限的にも予算面でも制約が多いのが実情である。

指定都市の区にどのような機能をもたせるかは、その都市の実情にそって市長が決められることになっている。そこで市では、これまでも区に主体性をもたせるための試みを重ねてきた。最近では、たとえば、地域において市政を代表するものとして、区

●第4章／あすの横浜のために

市民に焦点を合わせた区役所機能の強化が、今日ほど強く望まれているときはないといえよう。

第二は、市民サービスの向上と効率的な区行政の推進である。そのために、たとえば、窓口サービスの充実、オフィス・オートメーション化など事務処理の近代化が必要となる。

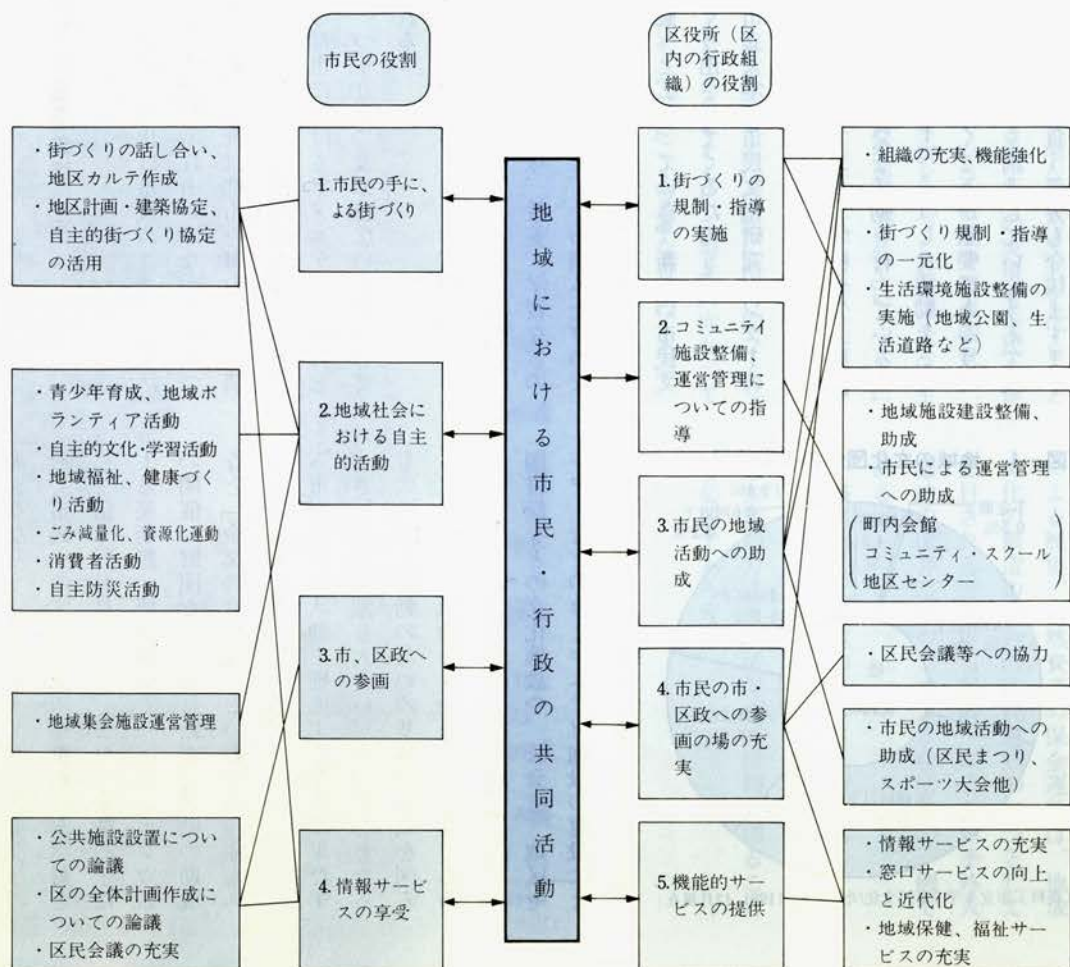
第一は、市役所と区役所との機能分担の明確化である。市役所は全市的な立場からの企画・調整・評価・基幹的業務事業などを中心に行い、区役所は地域に密着した総合的な行政を推進できる主体性を高めていくことが求められる。

多くの市民が期待する区役所を実現するには、こうした流れをさらに発展させていく必要がある。その主な課題は次の二点に集約できよう。

●機能分担の明確化

長を位置づけているのをはじめ、「よこはま21世紀プラン」における区別計画の策定、区自主事業の充実といった動きをあげることができよう。

図-1 地域における市民と行政



〔資料〕「よこはま21世紀プラン」